

2019年度第3四半期



# 決算補足説明資料

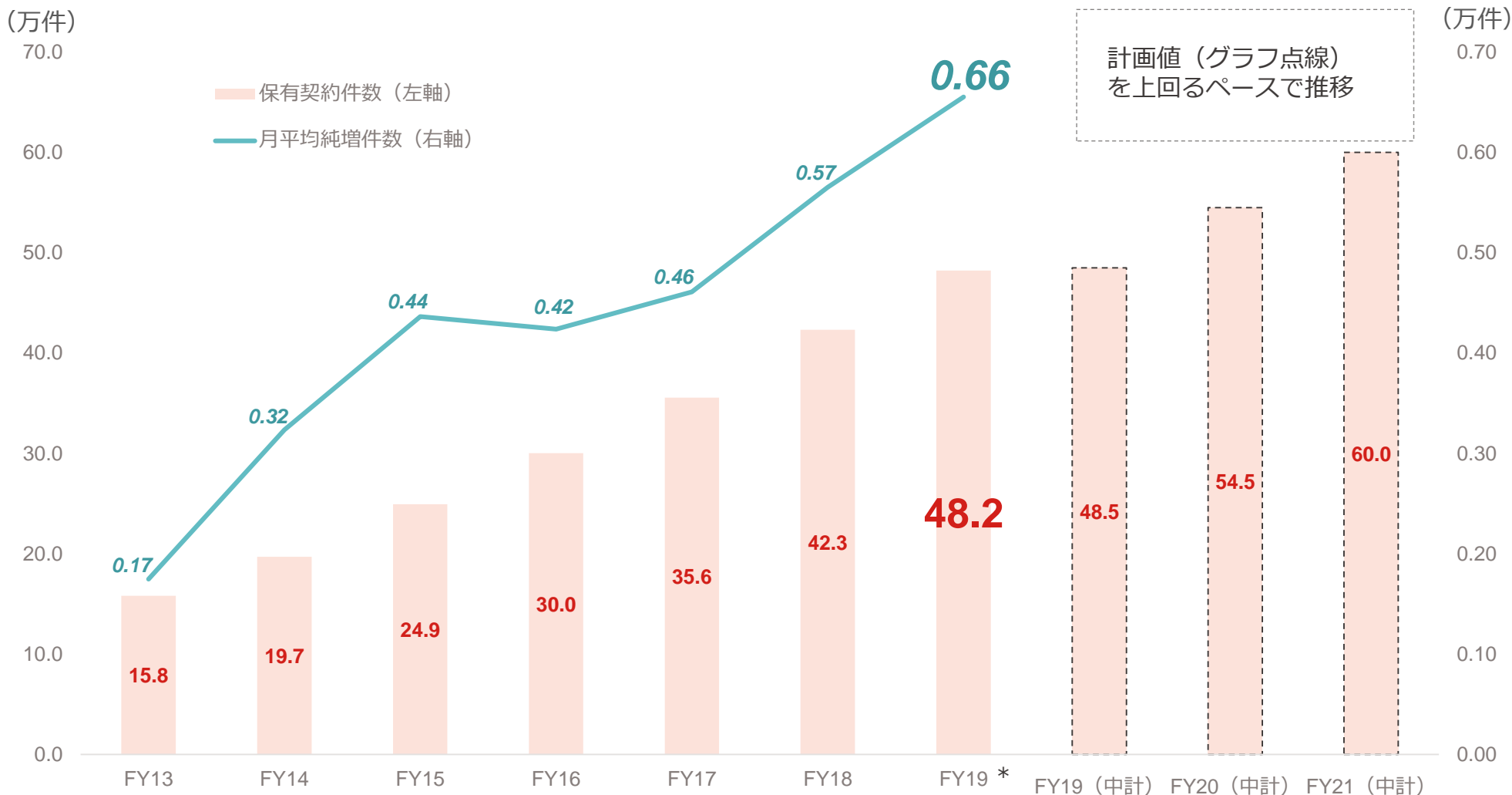
アイペット損害保険株式会社（証券コード：7323）

2020年1月31日

対前年同期比

**1 保険契約の順調な積み上がりにより、トップラインは堅調に伸展**経常収益 : **+22.4%****10,920百万円** ▶ **13,369百万円****2 新規契約が好調なため費用は増加しているが、吸収しつつ増益**調整後経常利益 : **+14.0%****728百万円** ▶ **831百万円**調整後四半期純利益 : **+11.0%****512百万円** ▶ **569百万円****引き続き、「増収」かつ「増益」**

- 保有契約件数は、当年度計画値を超える見込みで順調に拡大中
- 純増件数は、10月から開始した大手ペットショップ代理店および第一生命保険株式会社の営業員による保険募集が大きく貢献。



\* FY19は2019年12月末時点および2019年4~12月の実績

# 決算ハイライト

当社は、日本の会計基準（J-GAAP）の他に、経営管理指標（Non-GAAP）にて経営成績の開示を行っております。

当社は、Non-GAAP指標を重要な指標と考えております。  
詳細はAPPENDIXおよび決算短信をご参照ください。



## 収益指標(累計期間) ※未経過保険料方式 (Non-GAAP)

(単位:百万円)	FY18 3Q	FY19 3Q	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>10,920</b>	<b>13,369</b>	<b>+22.4%</b>
経常利益	381	407	+7.0%
四半期純利益	752*	264	△64.8%
<b>調整後経常利益</b>	<b>728</b>	<b>831</b>	<b>+14.0%</b>
<b>調整後四半期純利益</b>	<b>512</b>	<b>569</b>	<b>+11.0%</b>

\* 一時的な法人税等調整額499百万円を含む

### コンバインド・レシオ

正味保険料ベース ..... 87.9% (損害率44.6%、事業費率43.3%)  
 既経過保険料ベース ..... 94.3% (損害率48.9%、事業費率45.4%)

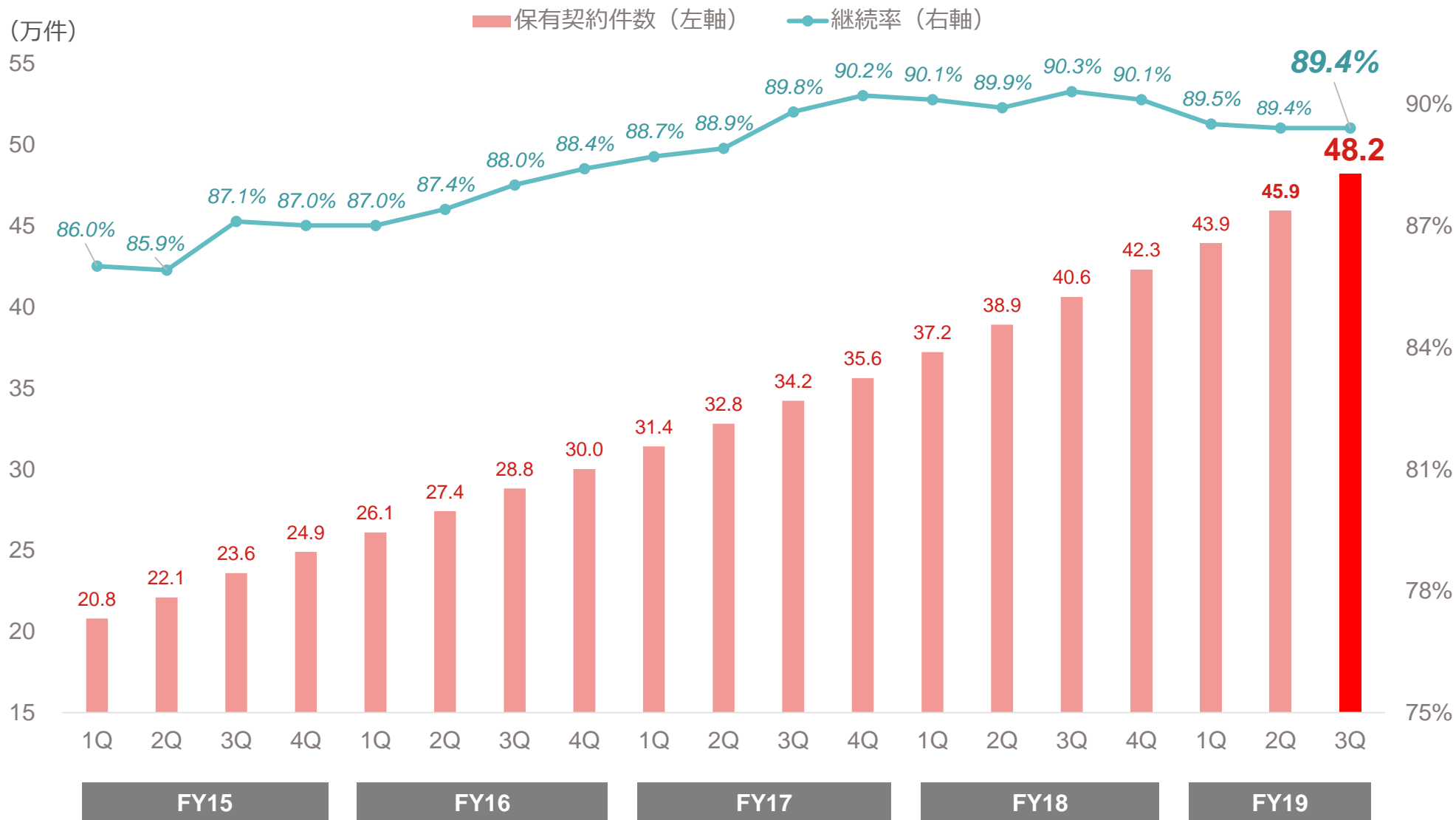
### 安全性指標

ソルベンシー・マージン比率 ..... 359.4% (前年度末比△22.0pt)

# 業績の推移について

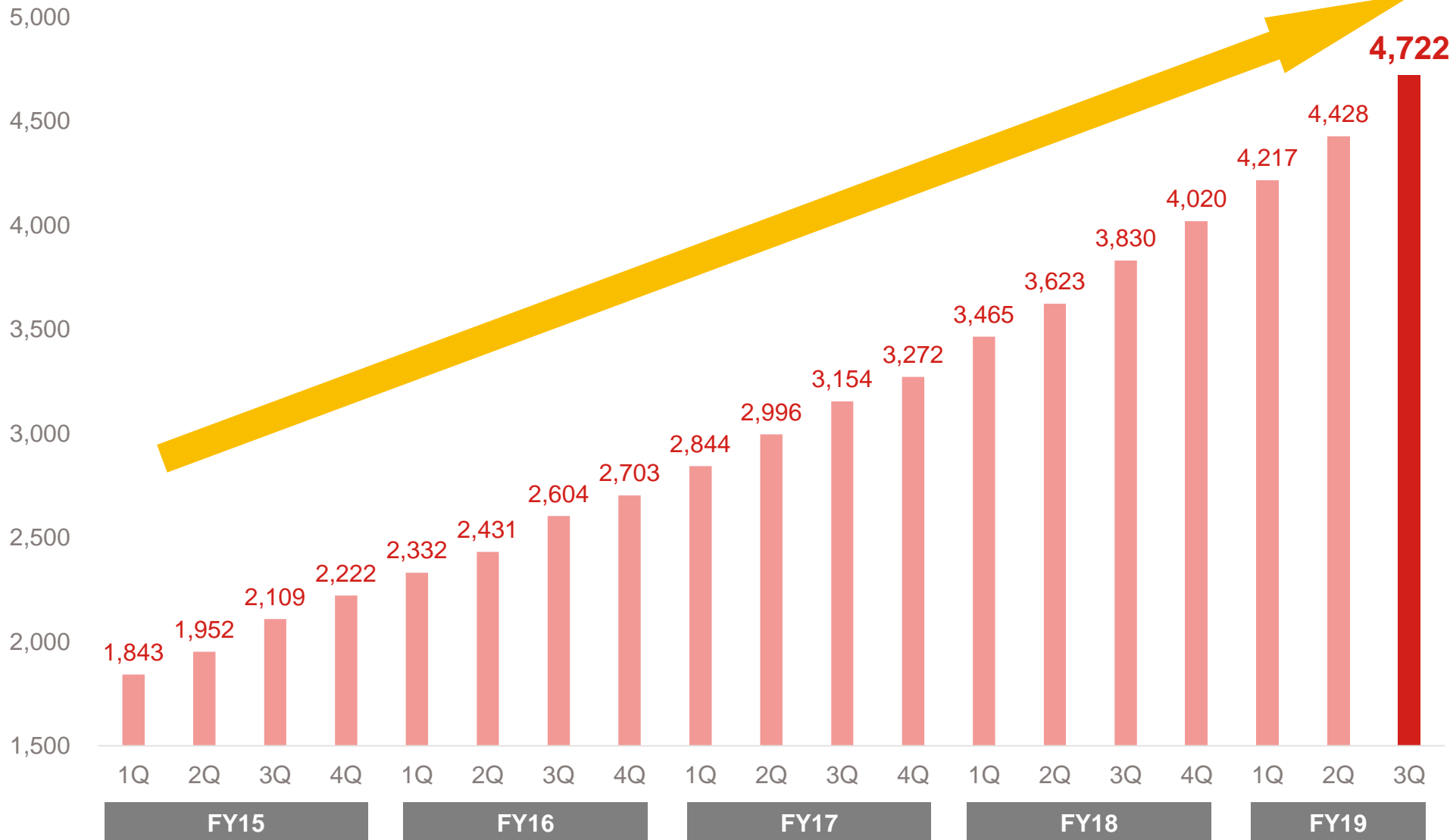


# 保有契約件数及び継続率の推移



契約件数が伸びても、継続率は業界トップクラスを維持

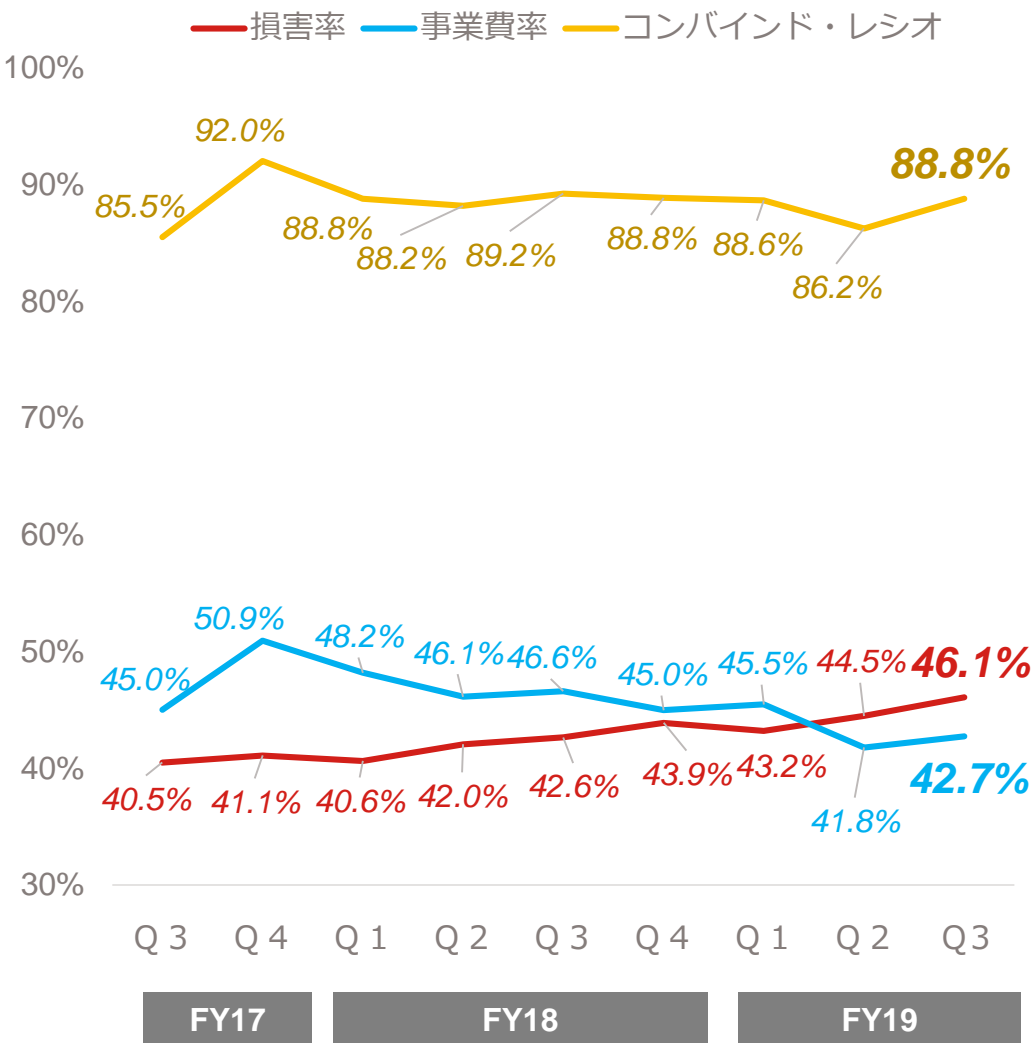
(単位：百万円)



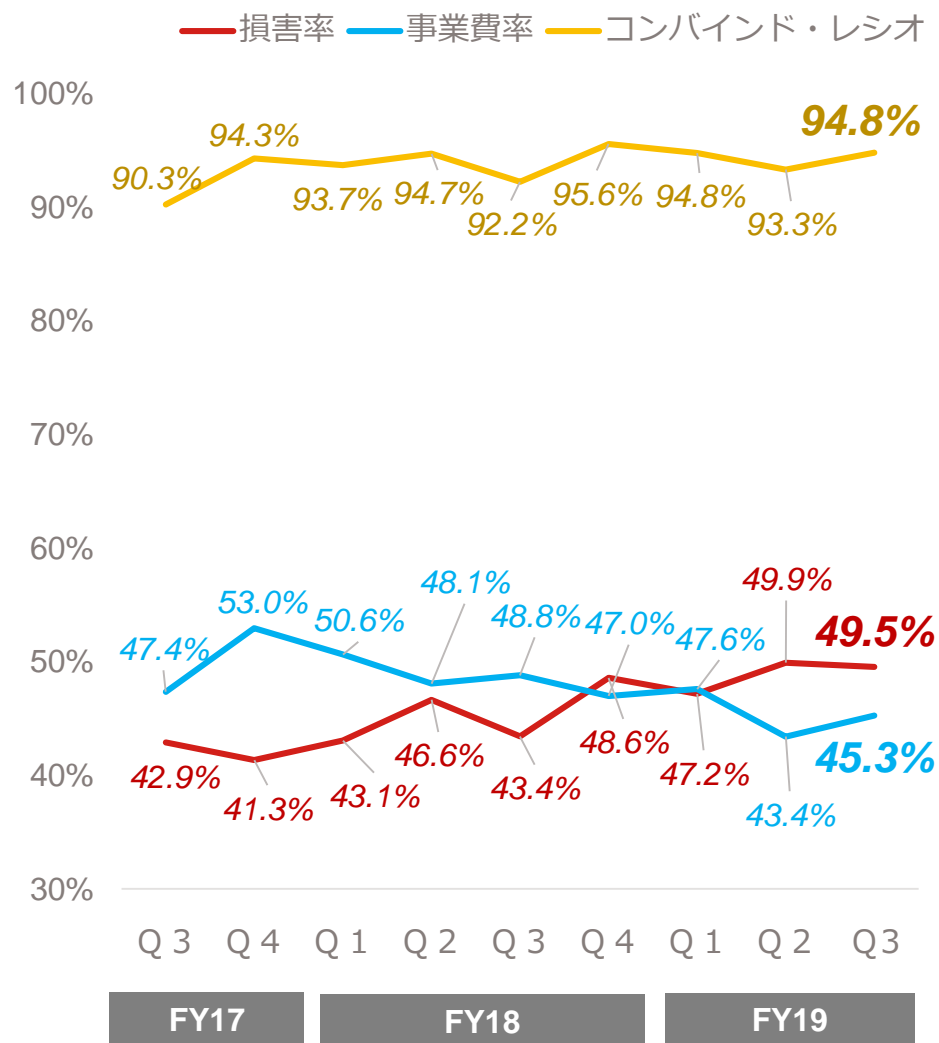
**事業規模の高成長は維持しつつも、高水準の増収率を達成**



## 正味ベース



## 既経過ベース





# Non-GAAPベースの業績

(単位:百万円)	FY18 3Q	FY19 3Q	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>10,920</b>	<b>13,369</b>	<b>+22.4%</b>
保険引受収益	10,842	13,204	+21.8%
資産運用収益	40	131	+222.9%
その他経常収益	37	34	▲8.5%
<b>経常費用</b>	<b>10,539</b>	<b>12,961</b>	<b>+23.0%</b>
保険引受費用	6,608	8,794	+33.1%
資産運用費用	17	13	▲23.6%
営業費及び一般管理費	3,911	4,115	+5.2%
その他経常費用	2	38	+1,449.1%
<b>経常利益</b>	<b>381</b>	<b>407</b>	<b>+7.0%</b>
特別損失	2	5	+84.2%
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>379</b>	<b>402</b>	<b>+6.4%</b>
法人税等	▲373	138	—
<b>四半期純利益</b>	<b>752</b>	<b>264</b>	<b>▲64.8%</b>

## 主な勘定科目の増減理由

保有契約件数の拡大に伴い順調に増加

利息配当金収入 +40百万円  
 有価証券売却益 +38百万円  
 金銭の信託運用益 + 5百万円

正味支払保険金 5,414百万円  
 (前期比 +28.4%)  
 諸手数料及び集金費 1,597百万円  
 (前期比 +35.6%)  
 責任準備金繰入額 1,041百万円  
 (前期比 +24.8%)

資産運用の拡大に伴い価格変動準備金繰入が増加

前期は税効果会計の区分変更に伴い、異常危険準備金に対する繰延税金資産を計上

# J-GAAPベースの業績



(単位：百万円)	FY18 3Q	FY19 3Q	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>10,920</b>	<b>13,369</b>	<b>+22.4%</b>
保険引受収益	10,842	13,204	+21.8%
資産運用収益	40	131	+222.9%
その他経常収益	37	34	▲8.5%
<b>経常費用</b>	<b>10,467</b>	<b>13,021</b>	<b>+24.4%</b>
保険引受費用	6,536	8,854	+35.4%
資産運用費用	17	13	▲23.6%
営業費及び一般管理費	3,911	4,115	+5.2%
その他経常費用	2	38	+1,449.1%
<b>経常利益</b>	<b>453</b>	<b>348</b>	<b>▲23.1%</b>
特別損失	2	5	+84.2%
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>450</b>	<b>343</b>	<b>▲23.8%</b>
<b>法人税等</b>	<b>▲353</b>	<b>121</b>	<b>-</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>803</b>	<b>221</b>	<b>▲72.4%</b>



(単位：百万円)	FY18	FY19 3Q	前年度末比
<b>資産合計</b>	<b>13,574</b>	<b>14,920</b>	<b>+9.9%</b>
現金及び預貯金	5,035	2,242	▲55.5%
有価証券等	3,686	6,531	+77.1%
繰延税金資産	834	955	+14.4%
その他資産	4,017	5,192	+29.3%
<b>負債合計</b>	<b>8,237</b>	<b>9,301</b>	<b>+12.9%</b>
保険契約準備金	7,019	8,382	+19.4%
うち支払備金	963	1,225	+27.3%
うち責任準備金	6,056	7,157	+18.2%
その他負債	1,217	918	▲24.6%
<b>純資産</b>	<b>5,336</b>	<b>5,619</b>	<b>+5.3%</b>
資本金	4,097	4,110	+0.3%

## 主な勘定科目の増減理由

余剰資金を資産運用に回している

金銭の信託 1,005百万円  
 (+1,005百万円)  
 有価証券 5,405百万円  
 (+1,838百万円)

ソフトウェア仮勘定 1,818百万円  
 (+ 566百万円)  
 未収保険料・未収金 2,243百万円  
 (+ 448百万円)

初年度収支残 4,510百万円  
 (+ 677百万円)  
 異常危険準備金 2,646百万円  
 (+ 423百万円)

未払法人税等の減少 ▲288百万円

# APPENDIX



(単位：百万円)

		FY18 3Q	FY19 3Q
Non-GAAP	A) 調整後経常利益 (= B + C)	728	831
	B) 経常利益	381	407
	C) 異常危険準備金影響額	347	423

- ・ 当社は、経営者が意思決定する際に使用する社内指標（Non-GAAP：未経過保険料方式）と、日本基準（J-GAAP：初年度収支残方式）に基づく指標の双方で経営成績を開示\*
- ・ 当社は、**調整後経常利益**（= 未経過保険料方式の経常利益±異常危険準備金\*\*影響額）を経営実態を適切に表す経営管理用の利益指標として使用
- ・ 異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、事業年度ごとに収入保険料に3.2%を乗じた金額を責任準備金として負債計上する必要がある（保険業法施行規則第70条1項2号）\*\*
- ・ 今後も業績予想は「**Non-GAAP：未経過保険料方式**」のみで開示

\* 上場企業のうち、初年度収支残方式に基づく損害保険会社は当社以外は存在していない  
 \*\* 当社の損害率が大蔵省告示第232号第2条の別表で記載されている基準損害率50%を下回るため



- ・損害保険会社は、普通責任準備金として未経過保険料残高と初年度収支残高の**いずれか大きい方**を負債計上する必要がある（保険業法施行規則第70条1項1号）
- ・当社は、初年度収支残高が未経過保険料残高を上回っているため、**制度会計上初年度収支残方式**によるが、経営管理上は、**発生主義**に即した**未経過保険料方式**を使用

## 初年度収支残方式と未経過保険料方式

[前提] ● 期中に一時払で100の入金、うち×1年度末での未経過保険料50  
● 保険金、事業費はそれぞれ下図の通り

×1年度



### 初年度収支残方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	55	▲55
利益	0	10

初年度の利益は0

### 未経過保険料方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	50	▲50
利益	5	5

発生主義による利益

## ■ 将来見通しに関する注意事項

- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- ・これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

### 本資料および当社IRに関するお問合せ先

**アイペット損害保険 財務経理部**

**TEL : 03-5574-8615 E-mail : IR@ipet-ins.com**

